

## 「健康教育学習会」を開催しました

2009年11月10日

滋賀医科大学では、地域住民の皆さま一人ひとりがいつまでも健康で長生きできるよう、身近な健康管理について知識を深めていただくため『地域「里親」による医学生支援プログラム』（略称「里親」GP）事業の一環として、「健康教育学習会」を10月22日（木）貴生川公民館（甲賀市水口町）・10月29日（木）今津東コミュニティセンター（高島市今津町）の2会場で開催しました。

里親学生支援室長である、本学社会医学講座の埜田和史准教授による『ころばぬ先のつえー 滋賀の医療とつえの話ー』という身近なテーマでの講演で、滋賀県の医療の現状や医師の実情などについて、調査結果に基づいた分かりやすい内容に、参加者も興味深く聞き入っておられました。講演終了時には、日頃の生活に関連づけて、いくつか質問などもありました。

ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。



貴生川公民館にて



今津東コミュニティセンターにて

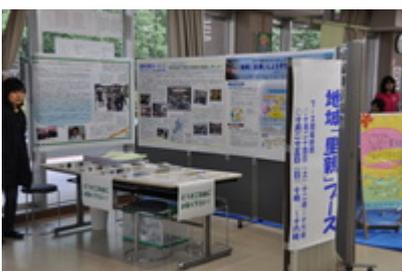
## 学園祭で地域「里親」ブースを設けました

2009年11月2日

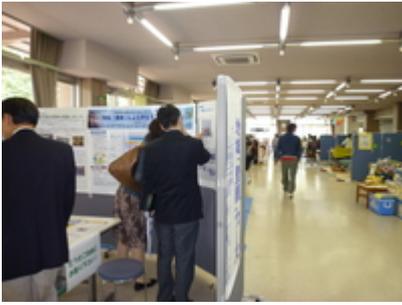
10月24日（土）・25日（日）に滋賀医科大学の学園祭（若鮎祭）が開催され、里親学生支援室もブースを設けました。

福利棟の一角を借りて事業のPRポスターや「里親学生支援室だより」の拡大版、宿泊研修の写真・新聞掲載の記事等を展示し、また「学生支援ニュース」等の発行物については気軽にお持ち帰りいただけるようにするなどして事業のPRに努めました。

学生の保護者の方々をはじめ、一般の方々も足をとめて質問されるなど、多くの方にこの事業に対して少しでも関心を持っていただけたのではないかと思います。



地域「里親」ブースの様子



また、別のエリアでは宿泊研修でお世話になった「東近江市」が研修をきっかけにブースを開設され、医療・福祉事業等の活動状況の報告展示や地元の手づくりパンやジェラートの販売などにより盛んに市のPRをされていました。



ご来場のうえブースにお立ち寄りいただいた皆さま、ありがとうございました。